

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

事業所名 オーパ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		勉強スペースとフリースペースを分けている。	勉強スペースが曜日によって短時間に集中することがあり手狭になっていることがある。パーテーション配置等を再考します
	2	職員の配置数は適切である	○		チェック・作業と分担している	チェックボックスの設置
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	現在、身体障がいの利用者がいない	受け入れのためにバリアフリー化を進める
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員用の連絡ノートで共有している	PDCAサイクルのCAに対し重点的に取り組む
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回の事業所評価結果表を利用	専門的な用語が多く出たため(保護者様向け)、次回はこちらで分かり易く変更する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		顧問行政書士による監査	随時運営における課題点を指摘していただいています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		有料の研修会に参加	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		6ヶ月毎の定期的なモニタリングを行っています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		自社作成のアセスメントシートをしようしています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		みんなで考えています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			学習スペースの拡大に伴ってフリースペースを広く利用したプログラムが組めなくなっている。 →新しいフリースペースを利用
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		必要に応じて即時、または後日共有を行っているが、終了後は送迎などがあり全員が参加することが難しい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画を常に確認できる日報の様式にしています	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月のモニタリングを徹底しています		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		学校とのケース会議なども積極的に開催しています		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		下校時刻の表等の収集は保護者様から行っている。	下校時刻予定変更があった際、対応しきれていないことがあるので連携を強める	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		公的機関(子ども総合支援センター)と連携	市立幼稚園で図れていないので図る	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業までにオーバ・セカンドに移行する利用者のみが現状		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			放課後クラブ等とのかかわりは無いが、休学日のお出かけ先での交流はある	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		随時LINEや電話を用いて		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後より有益な情報提供が出来るよう心掛けます	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		対応スピードには細心の注意を払うようにはしていますが、根本的に苦情がゼロとなるようなサービス提供が出来るよう注意してサービス提供を行います	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容などをお伝えできるようにオーバ通信を毎月配布している。		
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時対応マニュアルを作成し保護者様に配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	△			今後定期的な(年二回を予定)避難訓練を実施いたします
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修への参加、周知	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在そのような対応が必要な利用者様がない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			